



	<p>しくて、何が苦しいのか、自分が苦しい立場にいることが分からないので、そういった子どもの気持ちを代弁する人を育てようとする動きがある。</p> <p>それは障がい者の場合も同じだが、自分の気持ちを口に出して言えない人を代弁する人を育てようという視点があると良いと思う。</p> <p>認知症や病気になった方が、家族や医療関係者の都合が優先されて、受ける医療や介護の内容が決められていっている。</p> <p>子どもに対しても、親や教育者の状況が優先されて、子どもの気持ちが後回しになっているのではないかと最近よく感じる。</p> <p>アドボカシー、日本語で言えば代弁者というような視点があれば良いと思う。</p>
委員長	<p>代弁する人がいないと困る人がたくさんいる。高齢者でも子どもでも障がい者でも同じように、自分の意見を表現することが非常に困難になってきたときに、やっている側の都合で進められてしまうことが結構ある。これをどのように、こういった場所で取り上げていくかが問題であるため、大事な問題の提言であると思う。</p>
委員	<p>福岡県は一昨年ぐらいからアドボケーターを養成していて、一般の人がなっているが、他の都府県だと、弁護士や養育里親や児童相談所の方がなっている。</p> <p>子どもに関わりのある方々が、アドボケーターされていることで、子どもが自分の意見や思いを話すことが難しいケースもあるようだ。</p> <p>このため、独立した機関として、子どもたちの意見を聞くことができる体制を整えようとしている。これは子どもの権利条約の中に入っている。</p> <p>アドボケートの人たちをたくさん養成し、子どもの意見表明の権利を保障することは大事なことであるため、基本計画に子どもの意見表明を支援すると書いても良いわけだ。子どもの権利条約には書いてある。</p>
委員長	<p>これを策定すると10年間は有効であり、10年後にはアドボケーターが当たり前にいるという状況になっておけば良いのだが、何も書いておかなければ恐らく今のままであろう。だから、前向きに考えるなど、ひとこと入れておけば随分違うのではないかなと思う。いかが思われるか。</p>
事務局	<p>計画の24ページで子どもの権利について記してはいるが、ご指摘の通りの書き込みはない状態である。そういった視点も大事であるため、検討していきたい。</p>
委員長	<p>これは子どもだけに限らない、色々な場合があるため、各所に散りばめて入れていただきたい。</p>
委員	<p>前は外国人労働者や、カスタマーハラスメントや、ビジネスと人権の話をしていただいたが、今回は案の後半の方に特定職業従事者に対する人権教育啓発の推進というものがあり、これはある意味カスタマーハラスメントを受ける側ではないかと感じている。市の職員や学校の先生たちの人権の意識を高めていくのは良いことである。しかし、職員に限らず、コンビニエンスストアの店員など従業員に対して、納税者として、又は客としての立場を利用して高圧的な態度をとる人たちが未だに存在する。それが最近顕著になってきている。市民に対する啓発が必要だと非常に感じる。こういったことを計画に入</p>

	れていただくことが要望である。
委員長	これも最近結構目立つ。あちこちに場面に応じた啓発の文書は見かけるが、やはり取り組みとして必要な部分であるかもしれない。
副委員長	大牟田市でもそのような実態が顕著に増えているのか。 そのあたりの認識はどうか。
委員	飲食店やスーパーマーケットの実態調査に行くとそのような実態が増えていることが分かる。労働組合としては問題視しているが、労使の中では解決できない問題であるため、社会的な運動にしようと呼びかけているが、なかなか一つの団体では取組みが難しい。私もこの場でお話しさせていただいている。カスタマーハラスメントをしている側が、「これはただ教えているだけだ」と言って、ハラスメントをしていることを理解していない場合がある。これによって職員や従業員の方がメンタル不調になり、職場を長期離脱することになり、とても大きな問題になっていることが実態である。
委員長	学校で言えばモンスターペアレントというように、自分の子どもさえよければという形で出てくる。コンビニや飲食店でもそうだが、みんな自分に対する対応しか見ておらず、全体を見ていない。社会問題化している。 これは市民啓発になるのだろう。
委員	カスタマーハラスメントは、人権教育が入っていないと難しいところがあるのだろう。
委員長	人権・同和教育から市民啓発をしていく中で、それぞれの人権を守っていくことが大事である。
委員	基本計画に取り入れて欲しいことがある。1次計画から2次計画で、人権についての考え方が変わったと思う。尊厳をよく理解していないのではないか。 例えばいじめに関して、悪口や冷やかかしなどは受け取り手によって違う。日ごろから仲良くしている相手から言われてもそう簡単には怒らない。しかし、嫌いな相手から言われると怒ってしまう。集団による無視なども、無視している側は何とも思わないが、無視される側はとても辛い。こういった周りから見えず、受け取り手によっていじめと感じるか否かの親告事案は、暴力とは違い、学校での指導がしにくい。相談する側はきついと言っているが、相談される側は具体的な事実として見えるものがないため関わりづらい。 結局、尊厳についての指導が、被害者にも加害者にも相談される側にもない。だから他者の尊厳も自分の尊厳も大事にしようというのが今回の大きな違いだ。具体的に言うと、加害者にもならないというのが今回の基本的姿勢で変わったところだ。それを市の取り組みに何らかの形で取り入れて欲しい。 尊厳を互いに認め合うことが人権の教育の基本。しかしされていない。 今まで権利ばかりに目を向けてきたが、尊厳と権利が人権である。 日本では自殺者は3万人もいる。交通事故による死亡者は3千人もいない。誰にも相談できずに亡くなってしまおう方が3万人もいる。だから人権の観点から見たときに、相談できる人を育てるためにも尊厳について教育するというのを織り込んでほしい。 計画は「いつ・どこで・だれが・なにを・なぜ・どのように」を具体的に書くべき

	<p>である。大牟田市の計画には基本的姿勢は書いてあるが、国の計画にはどの部局がやるかなど具体的な内容まで書かれている。</p> <p>答申の際には是非具体的な計画を、どこの部局が主たる事務所かまで記載したものを出して頂きたい。</p>
委員長	<p>その人が一人の人間として認められる、大切にされるという文言がどこかに欲しい。行政にとって市民の人権を守ることが仕事のすべてである。</p>
委員	<p>担当部局を決めると、行政は縦割りだから動きづらい。だから横断的に取り組める組織として人権擁護委員協議会が国の第二次計画にも挙がっており、行政の仕事を超えてできる組織を活かそうと書かれている。具体的にはコミュニティスクール構想という。この中に横断的にものを言える人権擁護委員がいる。この人たちがこのコミュニティで活躍できると人権問題解決に近づく。</p>
委員長	<p>尊厳を保障していくようなものを書き込んで欲しい。</p>
委員	<p>ハラスメントに関する市民に対しての研修会等を開催するべき。市民学習をどのようにしていくかに結びつかせて行かないといけない。</p>
委員長	<p>意識調査報告書にあった通り、ハラスメント等に関して無知な市民が多い。市民全体に知れ渡るシステムが必要だ。教育の現場で、子どもたちが思いやられているかが大事。大牟田市の学校における人権・同和教育が、日本の中でどれだけ進んでいるかが大切であろう。</p>
委員	<p>令和 19 年には国民の 3 分の 1 が 65 歳以上の高齢者である。25 ページを見ると、老人会に対する配慮を市がテーマにしている。しかし、問題点は毎月活動している高齢者に対する対応が良くないことである。このため、福祉関係に係るリーダーに対する研修会を開催するべきである。</p>
委員長	<p>研修会は開催してはいるのだろうが、参加していない、学んでいないことが現状である。具体的に書いてほしい。</p>
副委員長	<p>歳を取ると外との関わりが減る。大牟田市が発展していくためにも高齢者の生きがい・活躍の場を用意してほしい。</p>
委員	<p>場はある。そこに連れていくことが老人会の役割。だからその老人会に対しての対応を改善して欲しい。</p>
副委員長	<p>活躍している方は心が豊かな人が多い。一方で、そうでない方は孤独感や孤立感があるから余計触れ合おうとしない。そこが問題であり、行政には考えてほしい。</p>
委員	<p>それも老人会の役割の一つだと思う。その活動を見守ってくれる場所が欲しい。</p>
委員	<p>国連のワーキンググループで高齢者権利条約を作ろうとしている。国連が子どもの権利条約を作ったら、国はこども家庭庁という省庁まで作った。については、高齢者権利条約ができれば省庁ができる可能性がある。</p>
委員長	<p>10 年後、高齢者権利条約が出来るところに大牟田市がすぐに受け入れられる体制になっているかが大事である。長期的に 10 年後を見据えて前向きに検討する文言が必要だ。事務局はどう思うか。</p>
事務局	<p>10 年間の計画だから 10 年後を見据えることはとても重要だ。しかし、長期的</p>

	な話になると、具体的に盛り込めるものとそうでないものがある。
委員長	いくつか具体的なものはあった。人材の育成、研修等、すぐには無理でも毎年一つずつでも実施すること等を考えてほしい。
事務局	しっかり検討させていただく。
委員	最期はモノ扱いされるのではなく、最期まで人間としての尊厳を持って生きていきたいということが、我々人類の最後の願いである。27 ページに新しい認知症観とあるが、ある程度のイメージはあるのか。
事務局	具体的なものはここにはないが、福祉部門でも新しい計画を盛り込んでいるため、そちらの方で具体的に見えてくるものがあるのではないかと思う。
委員	今は徘徊という言葉も使わなくなった。人権に関することは少しずつしか変わらない。今は認知症の人の意見を聞こうという姿勢が見られ、社会全体が変わってきている。
委員	言葉自体は綺麗になってきているが、地域で認知症について学んでいる割には受け止め方が…。
委員長	言葉が変わり、中身も変わっている。しかし言葉が変わっただけだと認識している人もいる。だからそういった人たちに対して、中身も変わっていると伝えることも必要だ。新しい認知症観とはそういうことではないだろうか。
委員	不登校問題は酷くなる一方である。大牟田市の中学校の不登校率は全国の倍だ。学校や教育委員会は努力しているが、不登校者数は増えている。学校は尊厳を高める場所であるのに、その場に行けないということは大きな人権問題である。市は不登校問題に対してももっと取り組んで欲しい。答申の中に織り込んで欲しい。人権・同和課だけでは大変だろう。他の部局でも担当を横断的に出来るような基本計画を書き加えてほしい。
委員	何故不登校問題が起こっているのか議論する必要がある。実は誰もそれを克服する方法を持っていない。今の教員は昔に比べ、非常に細やかに保護者対応をしている。しかし保護者から色々言われたりするからその度改善をするが、つらい思いをしている教員もいることが現状だ。色々学校でやってくれと言われるが、時間の制約がある中で目一杯取り組んでいると思う。 教員は保護者には指導ができない。協力しかできない。教育というものは一生涯続いていくものだと考えている。大人になったら互いに教えあわなければならない。腹を割って話し合える輪が広がれば、人権問題対策にもつながるのではないだろうか。 学校での大きな問題の一つに SNS の問題がある。昔は学校だけでも対応できたが大きくなりすぎた。中学校としては SNS を禁止にして欲しいくらいだ。中学校には持ち込ませていないから、本来 SNS に関する問題は保護者の責任だが、保護者はそれを知らない。国も動いているから 10 年後には何かできるかもしれないが、可能であればこの計画の中に SNS についてのことも入れて欲しい。
委員	民生委員児童委員と学校の連携が取れてきていると感じる。不登校だった子が学校に行けるようになったという朗報も聞いている。計画は素晴らしいものだが、実際に実行するのは審議委員ではなく、民生委員児童委員だからとて

	も大変だ。しかし、この計画をしっかりと取り組んで行きたい。
委員長	不登校問題は何年か前から出ている。色々な対策をしていて、子どもの新しい居場所を探し逃げ道を作っている。それをやることは子どもたちの人権を守ることだから悪いことではない。しかし、人権は守れているかもしれないが、不登校問題は解決していない。どれだけ教育学や心理学を研究しても、結果をもとに研究しているだけだから、不登校問題解決には役立たない。不登校になる理由は現場しか分からない。
委員	不登校自体が悪いことだと思っていると不登校問題は解決しない。そういった子どもたちに寄り添って笑顔にする大人が必要。子どもの問題ではなく、そういった状況の子どもに手を差し伸べない周囲の問題だ。子どもに笑顔が戻るようにという視点で取り組めばどのような方法も間違いではないのでは。定時制に来ている子たちは小・中学校の欠席日数が4桁の子どもたちが沢山いる。そういった子たちが定時制ではほとんど休んでいない。逆に心配である。子どもを批判しない大人でありたい。大牟田市の不登校者数は把握しているか。
事務局	申し訳ないが把握していない。
委員長	かなりの数だったはずだ。全国的にも増えている。
委員	不登校問題は対処療法しかないと思う。何故大牟田市の不登校率は全国の倍なのか、それはおっしゃられたとおり、不登校が悪いという意識がほかの地域と比べて高いのかもしれない。ほかの地域より率が高い理由を考える必要がある。
委員長	不登校対策というと、まるで悪いことのように思ってしまうから、「子どもに笑顔を」のような文言を計画に入れてほしい。
委員	不登校問題の力になればと通信制の学校をしているが、最近の子どもたちは自分自身のことを好きではない人が多い。この状態を取り除いてあげたい。「自分を愛しなさい」という言葉を聞いた。自分を好きでなかったら、他人を大切にできない。この言葉がはじまりであり、色々な問題に対する出発点となるのではないだろうか。
委員長	今日は様々な意見が出た。人材育成、カスタマーハラスメント、尊厳、各人権問題に対する責任の所在、不登校等、これらについて計画を調整できると思うが、事務局としてはどうか。
事務局	今回頂いたご意見を答申の中に取り入れるという形によろしいか。
委員長	そういう形で調整していきたい。是非「子どもの笑顔」は入れてほしい。以上で議論を終えたいと思うが、事務局から何かあるか。
事務局	今回頂いたご意見は今後の計画の策定の中で取り入れていきたいと思う。

終了